

I 第23週の発生動向 (2016/6/6~2016/6/12)

1. 伝染性紅斑については、東地方保健所+青森市保健所管内において**警報**が続いています。
2. 流行性耳下腺炎については、東地方保健所+青森市保健所管内において**注意報**が発令されました。
3. インフルエンザの迅速診断キットによる型別はB型17人でした。

II 第23週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	1	0.08					1	0.14	4	0.44	11	1.83	17	0.26	1
インフルエンザ	1	0.08											1	0.08	
RSウイルス感染症	1	0.13			1	0.10							2	0.05	0
咽頭結膜熱	4	0.50	9	1.00	6	0.60	1	0.20	1	0.17			21	0.50	-7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.50	12	1.33	51	5.10	2	0.40	2	0.33	3	0.75	82	1.95	22
感染性胃腸炎	58	7.25	19	2.11	36	3.60	33	6.60	15	2.50	45	11.25	206	4.90	-38
水痘	3	0.38	4	0.44	8	0.80			1	0.17	7	1.75	23	0.55	1
手足口病	1	0.13	2	0.22					2	0.33	1	0.25	6	0.14	5
伝染性紅斑	22	2.75	1	0.11					1	0.17			24	0.57	8
突発性発しん	4	0.50	4	0.44	6	0.60	4	0.80	2	0.33	2	0.50	22	0.52	-6
百日咳															0
ヘルパンギーナ															-1
流行性耳下腺炎	28	3.50			1	0.10	2	0.40	5	0.83	4	1.00	40	0.95	24
眼科					1	0.50							1	0.09	1
急性出血性結膜炎					1	0.50							1	0.09	1
流行性角結膜炎	2	1.00	1	0.33	3	1.50							6	0.55	-3
基幹															0
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎					2	2.00					2	2.00	4	0.67	-3
無菌性髄膜炎															0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)							1	1.00			1	1.00	2	0.33	-6

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市2人、八戸1人 (2016年計:121人)
- ・後天性免疫不全症候群(五類全数把握疾患): 八戸1人 (2016年計:1人)

IV 病原体検出情報 ※()内は、検査材料及び検体採取日です。

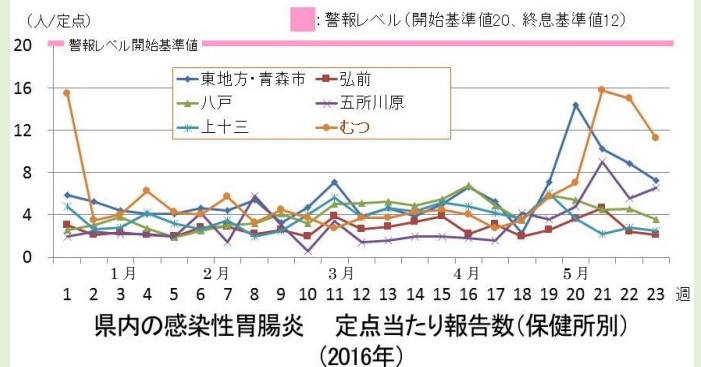
- ・インフルエンザ患者(鼻汁、5/25)・・・インフルエンザウイルスB亜型(山形系統):むつ1人
- ・ヘルパンギーナ患者(咽頭ぬぐい液、5/16)・・・HHV7及びHSV:弘前1人
- ・下気道炎患者(鼻汁、4/10~4/17)
ヒトライノウイルスC:八戸1人、ヒトメタニューモウイルス:八戸1人
- ・その他の患者(鼻汁、5/6)
ヒトライノウイルスA:八戸1人

感染症の窓

感染性胃腸炎 (五類定点把握疾患)

感染性胃腸炎は、多種多様な原因によるものを含む**症候群名**であり、主な病原体は、細菌、ウイルス、寄生虫です。冬季に患者報告数が増加しますが、その大半はノロウイルスなどのウイルス感染が原因と推測されています。**ノロウイルス**の感染力は非常に強く、**感染経路**としては、以前は**食中毒**としての感染経路がよく知られていましたが、患者のふん便やおう吐物からヒトの手などを介した**二次感染**や、家庭や共同生活施設などヒト同士の接触する機会が多いところで**ヒトからヒトへ**飛沫感染等で直接感染する場合があります。ノロウイルスに感染してから発症するまでの時間は24~48時間で、主な症状は**吐き気、おう吐、下痢、腹痛**で、**発熱は軽度**です。

現在、県全体では患者報告数が減少していますが、**むつ保健所管内**では、定点あたりの患者報告数が**依然として10人を超えており**、また、**五所川原保健所管内**では**患者数が増加している**(図)ことから今後の発生動向に注意が必要です。患者のふん便やおう吐物には大量のウイルスが排出されるので、感染予防として、食事の前やトイレの後の手洗いが重要です。関連HP→[厚生労働省](#)



V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第13週～2016年第23週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
13	H28.3.28 ~ H28.4.3		梅毒1人				
14	H28.4.4 ~ H28.4.10		レジオネラ症1人	侵襲性肺炎球菌感染症1人			
15	H28.4.11 ~ H28.4.17						
16	H28.4.18 ~ H28.4.24						
17	H28.4.25 ~ H28.5.1			A型肝炎1人			アメーバ赤痢1人
18	H28.5.2 ~ H28.5.8						
19	H28.5.9 ~ H28.5.15		梅毒1人	つつが虫病1人	梅毒1人		
20	H28.5.16 ~ H28.5.22			A型肝炎1人			
21	H28.5.23 ~ H28.5.29			A型肝炎1人 つつが虫病1人		侵襲性肺炎球菌感染症1人	
22	H28.5.30 ~ H28.6.5						
23	H28.6.6 ~ H28.6.12			後天性免疫不全症候群1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2016年第13週～2016年第23週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
13	H28.3.28 ~ H28.4.3	1	2	1	1		1
14	H28.4.4 ~ H28.4.10	1	2			1	
15	H28.4.11 ~ H28.4.17		2	1	1		1
16	H28.4.18 ~ H28.4.24	2		4			1
17	H28.4.25 ~ H28.5.1	1		3	1	3	
18	H28.5.2 ~ H28.5.8		1	2	2		
19	H28.5.9 ~ H28.5.15	2	1	1			
20	H28.5.16 ~ H28.5.22			4		1	
21	H28.5.23 ~ H28.5.29		1	3		2	
22	H28.5.30 ~ H28.6.5	1	3		1	2	
23	H28.6.6 ~ H28.6.12	2		1			

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注:発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第22週累計)

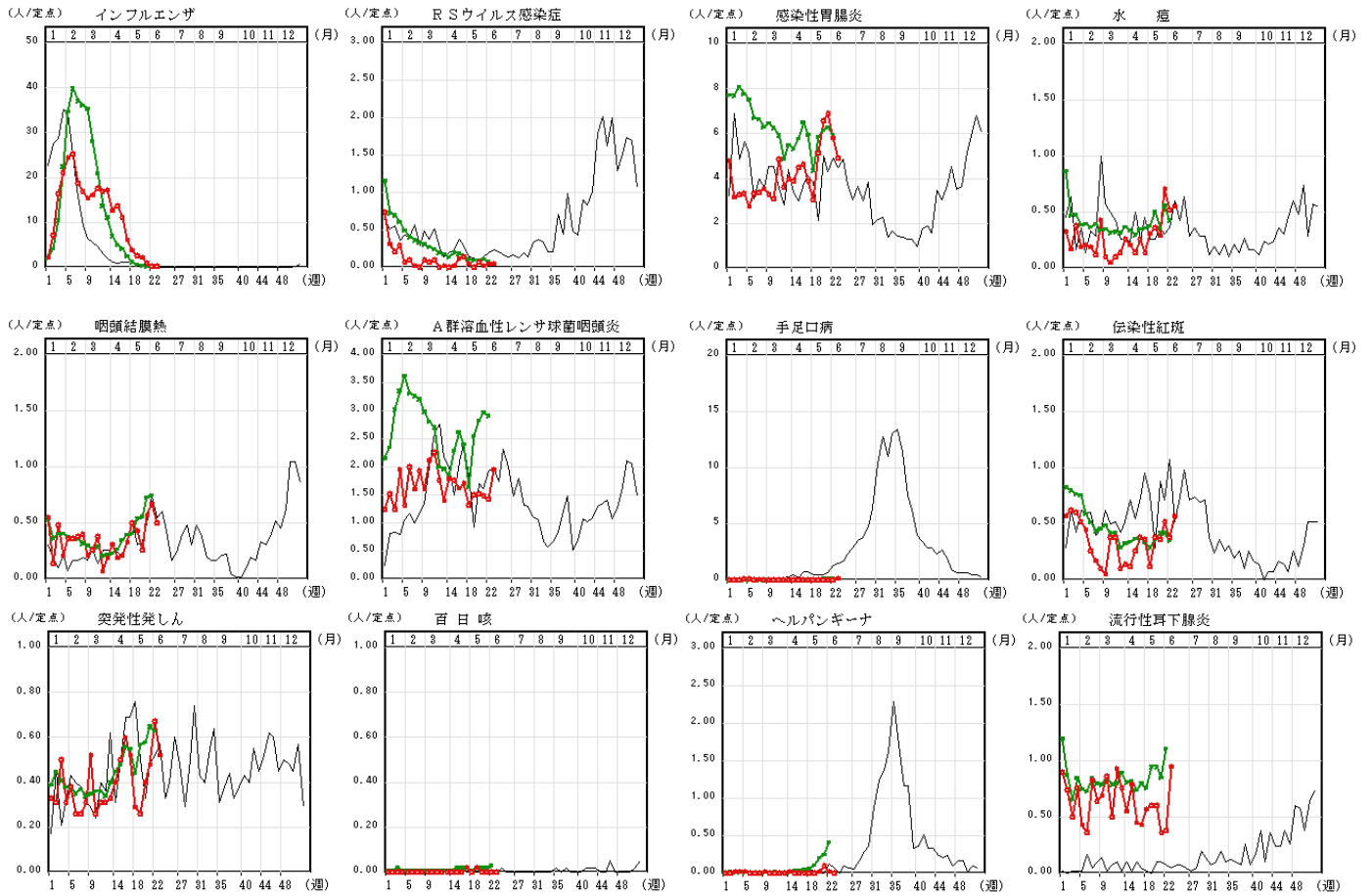
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類		
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	コングジオリデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	チング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎
累積報告数	9742	3	54	400	21	8	189	153	7	2	2	1	6	16	2	69	139	45	1	17	1	467	3	499	109
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネバクター感染症							
累積報告数	563	412	6	71	224	601	26	146	24	1417	124	1649	54	46	17	55	8								16

青森県 (2016年第1週～第23週累計)

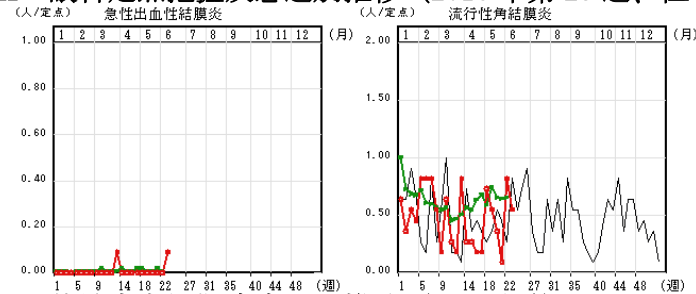
分類	二類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	A型肝炎	チング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒		
累積報告数	121	4	3	1	2	2	2	8	1	1	1	1	4	1			

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第23週、但し全国は前週)

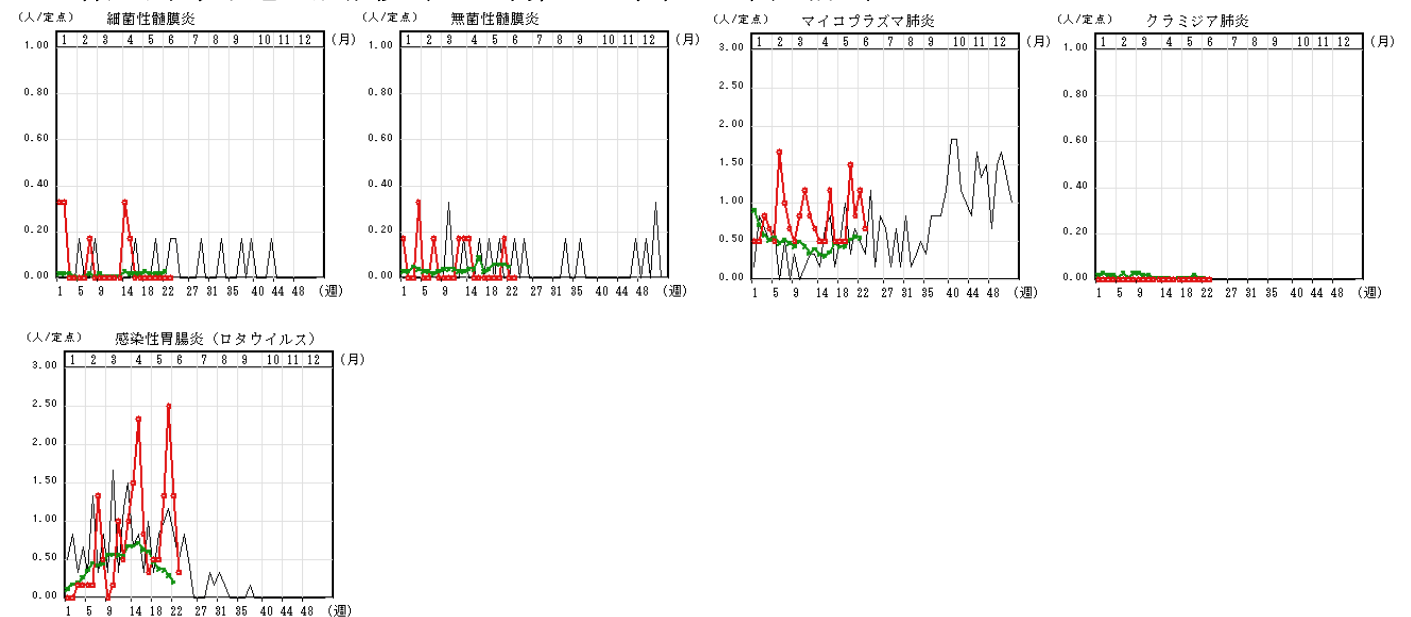
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第23週、但し全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第23週、但し全国は前週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第23週
報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22週	23週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	5
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	16
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	308